

『川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科外来通院中で、糖尿病腎症を合併しておられる患者さんへのお知らせ』

<【糖尿病透析予防指導の実態調査】に関する後方視的研究について>

わが国の透析患者数は年々増加の一途をたどっており、2011 末現在、全透析患者の 36.6%、新規透析導入患者の 44.2%は糖尿病腎症に起因していると報告されています。透析療法に至った糖尿病患者の生命予後は不良であることから、糖尿病腎症の発症・進展抑制は糖尿病患者の QOL 向上における重要課題です。糖尿病腎症の発症・進展抑制には厳格な血糖、血圧、脂質管理が有用であることが報告されていますが、未だ不明な点も多く、有効な介入戦略のためのエビデンスは不足している現状があります。そこで、我々は川崎医科大学附属病院における糖尿病透析予防指導診療の実態を後ろ向きに調査し、その有効性および問題点を解明したいと考えております。本研究により現時点での糖尿病腎症診療の有効性および問題点が明らかとなれば、糖尿病腎症診療の更なる充実に繋がります。

本研究は、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会より承認を得て施行されます。

1. 通常保険診療内で既に得られている情報（年齢、体重、糖尿病罹病期間、服薬内容、嗜好歴など）、採血および尿検査結果をもとに解析を行うため、新たに加わる身体的、経済的、医療的負担はありません。
2. 個人情報については、連結不可能匿名化されており、患者さんが不利益を受けることはありません。患者さんの個人情報は厳重に秘匿されます。
3. 研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

問い合わせ先：E-mail: eiyou@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL 086-462-1111、 FAX 086-464-1172

研究責任者： 太田弘子

問い合わせ担当者： 田村加奈子